
■ さろん | Mail News 2018/7/4 | #118 ■ 【イベント号】

ご案内不要の方はお手数ですがこのメールにそのままご返信ください。

哲学カフェ及び関連イベント情報をお送りします。みなさんの興味・関心の一助としていただくとともに、今後とも「さろん」を応援いただければ幸いです。

なお、このメールニュース掲載のコラム等は執筆者の個人的な考えを表したものです。会や専門領域における統一見解や事象を扱っているものではありません。予めご了承ください。

=====Vol.118 2018年7月4日(水)=====

さ | ろ | ん |

┌ ┌ ┌

M | a | i | l | N | e | w | s |

┌ ┌ ┌ ┌ ┌ ┌ ┌ ┌

<http://salon-public.com/>

(バックナンバーはHPからご覧いただけます)

<https://twitter.com/salontetsugaku>

<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>

=====

-----INDEX-----

- | 【1】 予約受付中：7/16 さろん哲学 第95回 テーマ：「給料と休日、どっちが大事？」
- | 【2】 予約受付中：7/8 朝さろん 〈82〉『夜と霧』 / 〈リクエスト特集〉
- | 予約受付中：8/5 " 〈83〉『芋虫』 / 〈リクエスト特集〉
- | 予約受付中：9/9 " 〈84〉『植物図鑑』 有川浩
- | 【3】 予約受付中：7/14 あるばか学校「猫考(ねこかん)―その1：本」
- | 【4】 開催の報告：6/16 さろん哲学 第94回 テーマ：「人の魅力について」
- | 【おしらせ】 さろんラボ 企画を募集中です♪
- | 【5】 関連イベント情報
- | 【6】 ふくろう広場 (会からのお知らせ)
- | 編集後記

-----CONTENTS-----

-----【1】 さろん哲学-----

第95回 テーマ：「給料と休日、どっちが大事？」

次回さろん哲学を下記のテーマで開催します。

日 時：2018年7月21日（土）15:00-17:00

テーマ：「給料と休日、どっちが大事？」

進 行：堀越

会 場：under the mat 中目黒

<http://www.underthemat.jp/>

参加費：800円/人

定 員：16名程度

▽司会から：働くことにおいて無視できない要素である給料と休日。今回は私達にとってこれら2つの要素が持つ意味をゆっくりと考えてみたい。

ご予約・ご質問はこちら⇒ salontetsugaku@gmail.com

詳細はこちらをご覧ください。

<http://salon-public.com/tetsugaku/>

<https://twitter.com/salontetsugaku>

- 会場は前回と異なりますので、ご注意ください。
- 携帯からメールを送信される場合、お返事のメールが受信できるよう、迷惑メール設定を適切にご変更願います。
- さろん哲学は原則【毎月第3土曜】に開催しています

—— 【2】朝さろん／夜さろん ——

朝さろん 〈82〉『夜と霧』 / 〈リクエスト特集〉

〃 〈83〉『芋虫』 / 〈リクエスト特集〉

参加者の推薦による〈リクエスト特集〉がにぎやかに開会中です。
みなさんに御推薦の本を寄せていただき、毎月1冊ずつみんなで読みます。
気になる本のある方、ぜひお気軽に御推薦をお願いします。
これまでの開催内容はHP「朝さろんの本棚」から閲覧できます。

<http://salon-public.com/archives/category/033>

【朝さろん】

◆朝さろん 82nd morning

『夜と霧』 ヴィクトール・E・フランクル / 〈本棚拝見(リクエスト特集)〉

日 時：2018年7月8日(日)9:05-12:00

参加費：1500円程度（ワンドリンク、室料、運営費、資料代込み）

場 所：渋谷周辺の会議室利用予定（ご予約時にご案内いたします）

本 　：『夜と霧』 V・E・フランクル(みすず書房)

定 員：8名程度（要予約）

バリスタ (進行) : 大山さん

内 容 :

□あらすじ

『「言語を絶する感動」と評され、人間の偉大と悲慘をあますところなく描いた本書は、日本をはじめ世界的なロングセラーとして 600 万を超える読者に読みつがれ、現在にいたっている。原著の初版は 1947 年、日本語版の初版は 1956 年。その後著者は、1977 年に新たに手を加えた改訂版を出版した。世代を超えて読みつがれたいとの願いから生まれたこの新版は、原著 1977 年版にもとづき、新しく翻訳したものである。私とは、私たちの住む社会とは、歴史とは、そして人間とは何か。20 世紀を代表する作品を、ここに新たにお送りする』

□推薦者・大山さんからのコメント ;

「納得しがたい境遇に甘んじているとき、私は、本書にかいてあるような「今に見ている、わたしの 真価を発揮できるときがくる (p122)」という心境になっていることが、よくあります。それは、「期待」にすがって苦しい日々をやりすごし、「現実をまるごと無価値なものに貶めること (p121)」、「目下の自分のありようを真摯に受けとめず、これは非本来的ななにかなのだと高をくく (p121)」る、というありようにほかなりません。そのことを、私は、著者からきびしく指摘されたと、この本をよんで感じています。／本書では、こうしたありようを「暫定的存在 (p118)」といい、とくに強制収容所においては「典型的な収容所心理 (p111)」であったとされ、主体性や感情ならびに節操といった人間性を失わせていった、といいます。／それは、毎日殴られるというおぞましい現実をたいして、「被収容者の心をとっさに囲う、なくてはならない盾 (p37)」だったといいます。こうした「典型的な収容所心理」に入り込んで心を閉ざし、なんとか収容所の日々をやり過ごしていても、やがては完全に精神が破綻する多くの被収容者を、著者はまのあたりにしてきました。／著者はこうした過酷な状況下で、「生き延びる見込みなど皆無のときにわたしたちを絶望から踏みとどまらせる、唯一の考え (p131)」として、「わたしたちが生きることからなにを期待するかではなく、むしろひたすら、生きることがわたしたちからなにを期待しているか (p129)」を問い直すこと、そして、誰も身代われない自分に与えられた苦しみをとことん苦しみつくすこと、これらが不可欠であると悟りました。／この力強い言葉のみならず、この考えに至るまでに引用される哲学者の言葉も魅力的であり、私は、今回それらについてみなさんと議論してみたいとおもい、推薦させていただきました。」

◆朝さろん 83rd morning

『芋虫』 江戸川乱歩 / 〈本棚拝見(リクエスト特集)〉

日 時 : 2018 年 8 月 5 日(日)9:05-12:00 *御盆休みに重なるため開催週を変更しています

参加費 : 1500 円程度 (ワンドリンク、室料、運営費、資料代込み)

場 所 : 渋谷周辺の会議室利用予定 (ご予約時にご案内いたします)

本 : 「芋虫」(『江戸川乱歩傑作選』所収) 江戸川乱歩(新潮文庫)

定 員 : 8 名程度 (要予約)

バリスタ (進行) : 大澤さん

内 容 :

□推薦者・大澤さんからのコメント

『主要登場人物は 2 人だけ、30 ページほどの短編ですが、人間の欲望や愛情、尊厳などについて、思わず考え込まざるを得ないような濃密で濃厚なお話です。少年探偵団からご無沙汰という人も、乱歩大好きという人も、今回初めて読みますという人も、少々刺激的な独特の世界観と一緒に堪

能できたらうれしいです。』

□あらすじ

「傷痍軍人の須永中尉を夫に持つ時子には、奇妙な嗜好があった。それは、戦争で両手両足、聴覚、味覚といった五感のほとんどを失い、視覚と触覚のみが無事な夫を虐げて快感を得るというものだった。夫は何をされてもまるで芋虫のように無抵抗であり、また、夫のその醜い姿と五体満足な己の対比を否応にも感ぜられ、彼女の嗜虐心はなおさら高ぶるのだった。ある時、時子は夫が僅かに持ちうる外部との接続器官である眼が、あまりにも純粹であることを恐れ、その眼を潰してしまう。悶え苦しむ夫を見て彼女は自分の過ちを悔い、夫の身体に「ユルシテ」と指で書いて謝罪する。間もなく、須永中尉は失踪する。時子は大家である鷲尾少将と共に夫を捜し、「ユルス」との走り書きを発見する。その後、庭を捜索していた彼女たちは、庭に口を開けていた古井戸に何か落ちた音を聞いたのだった……。」

◆朝さろん 84th morning

『植物図鑑』 有川浩／〈本棚拝見(リクエスト特集)〉

日 時：2018年9月9日(日)9:05-12:00

本：『植物図鑑』 有川浩(幻冬舎文庫)

バリスタ(進行)：Tさん

予約受付中です；

salontetsugaku@gmail.com (担当：芹沢)

(予告)

◆夜さろん 第18夜

《定点観測としての読書会 ～川上未映子『ウイステリアと三人の女たち』～》

<http://www.shinchosha.co.jp/book/325625/>

8月～9月頃の夜に開催予定です。

過去の開催内容をHPに掲載しています。

◇朝さろんの本棚 <http://salon-public.com/archives/category/033>

◇夜さろんの本棚 <http://salon-public.com/archives/category/034>

【開催概要】

《朝さろん》第2週の日曜AMに開催(場合によって開催週変更の場合あり)

《夜さろん》不定期開催

【3】あるばか学校

「猫考(ねこかん)―その1:本」

「猫考(ねこかん)―その1:本」

【内容】

あるばかとは全く違うと思われる猫。大きなブームになっていて、とても興味を持ったものです

から、猫に着目してみました。近ごろの猫ブームはなぜなのか？人にとっての猫とは何か？猫にとっての人とは？がテーマです。

人に薦めたい、猫が主役の本（小説、コミック、写真集、絵本等）を、集まった人各自が紹介します。紹介された本を参考にして、テーマについて、話したり喋ったり聞いたり考えたりしてみます。猫本専門書店探訪付きです。

【考えたい事、考えた後に期待したい事】

- ・他の動物ではなく、猫がブームになっている要因の探求（猫の特徴、特性等に寄るものなのか？）
- ・人は、猫のような暮らし方、生き方に憧れを抱いているのか？
- ・猫が好き、きらい、の違いが生まれる要因とは何か？
- ・猫と人との関係を考える事をおして、自分自身の事、自分と他者の関係がみえてくるかも。

【詳細】

開催日：7月14日（土）

時 間：11：30～14：30

場 所：神保町付近

費 用：参加費 50 円（学校費）、飲食費実費（1000 円程度）

定 員：5～6 名程度（最小催行人数 2 名）

持ち物：紹介用に、猫が主役の本を 1 冊（小説、コミック、写真集、絵本等）

申込み・お問合わせ alpaca.gakkou@gmail.com

あるぱか学校ブログ <http://alpacagakkou.blog.fc2.com/>

ご注意

猫の保護、譲渡、動物愛護等の活動や団体とは一切関係ありません。

—— 【4】 さろん哲学 ——

第 94 回 テーマ：「人の魅力について」

前回さろん哲学を下記のテーマで開催しました。

日 時：2018 年 6 月 16 日（土）

テーマ：「人の魅力について」

進 行：野田

会 場：カフェ・ミヤマ 渋谷公園通り店

参加者：15 名

▽司会から：

人のどこに魅力を感じるか、魅力とはそもそも何か、魅力に共通するものについて主に議論しました。

近日中に HP に議事録を公開します。

詳細はこちらからご覧ください。

<http://salon-public.com/tetsugaku/>

ご感想などありましたらお寄せください； salontetsugaku@gmail.com

— 【おしらせ】 —

さろんラボ 企画を募集中です♪

名称：【さろんラボ】

コーディネーター：【堀越】

- ・哲学カフェを自分で開きたいけど、どうしたらいいかわからない…。
- ・読書会を自分で主催したいけど、自信がなくて…。

そんなときこそ「さろんラボ」がお力になります。

さろんラボでは、みなさまの「やってみたい」を核に、さろんを触媒にして、どんな化学変化が起きるかを試みる場です。

ご参考までに、このラボからは、さろんの参加者の手で、以下の二つの活動がうまれました。

【さろんラボ 001】 「あたまの中を散歩するてつがくカフェ」

<http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/>

【さろんラボ 002】 「哲学カフェ Ante-table/アンティ・テーブル」

<http://ante-table.wix.com/ante-table>

既存の哲学カフェのカタチに限定せず、みなさんの中で温まっている関心事やご興味を添えて、どうぞお気軽に下記までご連絡下さい。
みなさんとの新しい化学変化を、スタッフ一同心から楽しみにしています。

▽詳細はこちらまで

salontetsugaku@gmail.com (担当：堀越)

— 【5】 関連イベント情報 —

哲学カフェ関連イベントやおもしろスポット、その他おすすめ情報をご紹介します

From さろんラボ：001

【あたまの中を散歩するてつがくカフェ】第32回

ひとりひとりの言葉をじっくりときき、ゆっくりと考えることを大切に活動しているてつがくカフェです。

現在、次回の活動へ向けて準備中のため、てつがくカフェの開催をしばらくお休みしています。

活動予定がみなさんへお伝えできるようになりましたら、
またウェブサイトやツイッターにてご案内いたします。
あたまの中を散歩するてつがくカフェ
運営 くらち

※お問い合わせはウェブサイト内の「申し込みと問い合わせ」フォームから、
もしくは sanpo.tetsugaku@gmail.com までご連絡ください（Gmail が受信できる設定をお願い
いたします）

ウェブサイト：<http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/>

ツイッター：https://twitter.com/sanpo_tetsugaku/

お問い合わせ：sanpo.tetsugaku@gmail.com（くらち）

From さろんラボ：002

〔哲学カフェ Ante-table/アンティ・テーブル〕第16回

テーマ：私が『生まれる』とは、どのようなことか？

哲学カフェ Ante-table/アンティ・テーブル

HP：<http://ante-table.wix.com/ante-table>

email：cafe.ante.table@gmail.com

（一覧になっているもの）

▽首都圏哲学関連イベントまとめサイト

<http://tokyotetsugakumatome.g.hatena.ne.jp/>

▽もっと自由に「てつがく」したい！対話がメインな東京の哲学カフェまとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2136167936080093501>

▽全国各地の哲学カフェ

<http://matome.naver.jp/odai/2138543414370880601>

▽哲学カフェ一覧

<http://www.135.jp/lite/>

▽東京で行われている読書会まとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2135489489421994201>

▽8/25（土）哲学プラクティス連絡会

<http://philosophicalpractice.jp/>

▽8/26（日）日本哲学プラクティス学会

<https://philopracticejapan.org/author/philopracticejapan/>

▽「ソクラテスと亀」共催イベント

12:30 - 14:30 会場：双子のライオン堂書店

<http://ptix.at/ZyDMNu>

第4回 7/28（土）12:30～ 『社会契約論』

第5回 9/29 (土) 12:30～ 『法の精神』

- ▽ 『こどものてつがく・ケアと幸せのための対話』(シリーズ臨床哲学3), 大阪大学出版会
高橋 綾 (著), 本間 直樹 ほんまなほ (著), 鷺田 清一 (監修)
<https://www.amazon.co.jp/dp/4872595807>
- ▽ 『ソクラテック・ダイアログ 対話の哲学に向けて』(シリーズ臨床哲学4),大阪大学出版会
<http://www.osaka-up.or.jp/books/ISBN978-4-87259-604-5.html>
- ▽ 『問い続ける教師 教育の哲学×教師の哲学』
多賀 一郎 (著), 苫野 一徳 (著)
<https://www.amazon.co.jp/dp/4761923636>
- ▽ 読書猿 (『問題解決大全』) ×原田まりる (『まいこち哲学』) 対談
<https://www.bunkanews.jp/news/news.php?id=18117>
- ▽ 『なぜと問うのはなぜだろう』吉田夏彦 (ちくまプリマー新書)
<https://www.amazon.co.jp/dp/4480689907/>
- ▽ 『子どもたちの未来を拓く探究の対話「p4c」』p4c みやぎ・出版企画委員会,東京書籍
<https://www.amazon.co.jp/dp/448781071X/>
- ▽ 『作家、学者、哲学者は世界を旅する』ミシェル・セール
<https://www.amazon.co.jp/dp/480100198X/>
- ▽ 『あなたの知らない脳——意識は傍観者である』デイヴィッド・イーグルマン
<https://www.amazon.co.jp/dp/415050475X/>
- ▽ 『幸福はなぜ哲学の問題になるのか』青山拓央
<https://www.amazon.co.jp/dp/4778315359/>
- ▽ 『中動態の世界 意志と責任の考古学』國分功一郎
<http://www.igaku-shoin.co.jp/bookDetail.do?book=87748>
- ▽ 『社会にとって趣味とは何か』北田暁大・解体研 [編著]
<http://web.kawade.co.jp/bungei/1262/>
- ▽ 『哲学がわかる 因果性』スティーヴン・マンフォード、ラニ・リル・アンユム、岩波書店
<https://www.amazon.co.jp/dp/4000612417/>
- ▽ 「観光経験の現象学」エリック・コーヘン
5つのモード〈レクリエーション、気晴らし、経験、体験、実存〉

<https://ci.nii.ac.jp/els/contents110000474986.pdf?id=ART0000859721>

▽カフェフィロ

<http://www.cafephilo.jp/>

▽Core Talk Cafe おとなのためのてつがくカフェ

<http://www.coretalkcafe.jp/index.html>

▽てつがくカフェ@せんだい

<http://tetsugaku.masa-mune.jp/>

▽てつがくカフェ「医療とケアを問い直す」

<http://sinemasamune.blog.fc2.com/>

▽NPO 法人子ども哲学おとな哲学アーダコーダ

<http://ardacoda.com/>

▽人生カフェ

詳細：詳しくは「人生カフェ」で検索を。

<http://tokyojinseigakuin.cocolog-nifty.com/blog/>

▽対話学舎えんたらいふ

ねりまの哲学対話“ねりテツ”

カフェ藤香想『わわわの話』

<http://msentalife.wixsite.com/entalife>

▽竹林茶話会 哲学Cafe@柏

<https://www.facebook.com/chikurinsawakai/>

▽はなこ哲学カフェいどぼたのいどほり

<https://www.facebook.com/hanakophilosophycafe/>

▽対話の実験室@公差転

<http://kosaten.org/taiwa/>

▽対話カフェ Tokyo～Yokohama

<https://taiwa-cafe.jimdo.com/>

▽デモクラシーCafe@東村山

http://blog.livedoor.jp/pieru80-democracafe_higashimurayama/

▽読書と対話の会

<http://1love.link/pg47.html>

▽クルミドの朝モヤ

<http://ameblo.jp/kurumed/>

▽小金井哲学カフェ

<http://koganei-philosophycafe.blogspot.jp/>

▽高千穂大学哲学研究会パイディア

<https://paideiatakachihophilosophy.wordpress.com/>

▽UTCP (東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属「共生のための国際哲学研究センター」)

<http://utcp.c.u-tokyo.ac.jp/>

▽東京メタ哲学カフェ

<https://mgasamihonma.wixsite.com/tokyometa>

<https://www.facebook.com/tokyometa/>

▽P4C-japan

<http://p4c-japan.com/>

▽クラリスブックスの読書会 | 東京下北沢の古本屋

<http://blog.clarisbooks.com/2014/07/15/2696>

▽読書会ガイブンキョウク

<https://twitter.com/gaibunkyoku>

▽京都・大阪市民読書会

<http://kyotobookclub.blog.fc2.com/>

▽原稿の推敲・校正・リライトを支援する3つの文章チェックツールを作りました！

<http://tokimaki.hatenablog.com/entry/2016/10/23/160512>

▽リフレクション・ポータル

<http://reflectionportal.com/>

▽ヨコハマ読書倶楽部

<https://yokohama-dokusho.jimdo.com/about-us/>

▽本の場所 (表参道)

著者自身による小説の朗読会

<http://www.honnobasyo.com/>

【6】

ふくろう広場（会からのお知らせ）

1) さろん8周年 今年の新イベントも！

毎年9月がさろんのアニバーサリーマンスです。今年で満8周年。そして9年目に突入です。

Special Month となる今年が目玉はコレ！

・9月8日（土）開催「さろん Remix」企画

哲学カフェとも、読書会とも異なる企画が、リミックス&アップデートして開催！

街へ飛び出してみんなでエンジョイしましょう！今から手帳に赤マルを♪

さろん哲学の記念例会は

・9月15日（土）定例の第3土曜

こちらも、ふだんのさろん哲学とは違った趣で開催予定です。

2) 1年振りの開校 「7/14(Sat) あるばか学校」

昨年の夏に開校した、不定期開催のふしぎな学校「あるばか学校」が一年振りに開校です。

http://salon-public.com/wp-content/uploads/2017/08/96_Mail_News_20170801.pdf

・7月14日（土）

なんだか夏になるとオープンするサマースクールっぽい感じですが、

今年はなんと、”あるばか”なのに「猫」。

ますますふしぎな学校ですが、ここでしか学べないことがきっとあるはず。

まなぶ内容（コンテンツ）も、まなぶ方法（ハウツー）を両方ちゃんと大事にしている、アットホームな学校です。

あるばか達かもふもふとお待ちしています。

3) さろんグッズ 製作開始☆彡

さろんのマスコットのフクロウ（通称：さろんちゃん）がグッズ展開

現在プロトタイプを作成中です♪

8周年や第100回さろん哲学、その他の場所で、

そのうちお披露目できる、かも？！

4) スタッフ MTG 会場がクローズでまたも迷子に！？

ここしばらく月第1月曜の夜に、スタッフ MTG を開催しているのですが、

この MTG 会場にしている静かで都会的な新宿の某カフェ・コムサが今月で閉店。

ということで、来月からまたも会場探しの迷子ちゃんに逆戻りです。

新宿～渋谷辺りで、19:30 から 5 名で打合せできるよさ気な場所をご存知の方、
情報提供お待ちしております。（切実）

⇒ salontetsugaku@gmail.com

編集後記

メールニュース第 118 号をお届けします。

ひさしぶりのあるばか学校のお知らせがありました。スタッフとしてもうれしいニュースでした。

「ふくろう広場（会からのお知らせ）」という欄が登場しました。
会のなかでふだんどんなことをしてるのか。それがどんな風に催事や変化になっていくのか。
そのダイナミズムもお伝えしたい、という狙いのようです。

梅雨も明けて暑くなりますが、みなさま体調にはくれぐれもご自愛ください。
今月もさろんのあちらこちらでお待ちしています。

それではまた次号でお会いしましょう。ホウ。

編集: (梶 2 号)

さろん | Mail News 2018/7/4

⇒次号 (7 月 15 日発行予定)

さろん Mail News 第 118 号 / 2018 年 7 月 4 日発行【イベント号】

編集・発行: さろん

salontetsugaku@gmail.com

<http://salon-public.com/>

<https://twitter.com/salontetsugaku/>

<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>

- ◇ 「さろん」にお知らせいただいたお名前・メールアドレスなどの個人情報は、
当会からのご案内のためだけに使用いたします。
また、ご本人の同意なく第三者への提供はいたしません。
- ◇ 「Mail News」の無断転載はご遠慮ください。転載ご希望の場合はご連絡願います。
バックナンバーは HP からご覧いただけます。
- ◇ 【Twitter】 <https://twitter.com/salontetsugaku>
- ◇ 【Facebook】 <https://www.facebook.com/salontetsugaku/>
- ◇ 【ホームページ】 <http://salon-public.com/>
 - 「さろん哲学」 Web サイト <http://salon-public.com/tetsugaku/>
 - 「朝さろん」 Web サイト <http://salon-public.com/asa/>
 - 「さろん工房」 Web サイト <http://salon-public.com/koubou/>
 - 「あるばか学校」 blog <http://alpacagakkou.blog.fc2.com/>



"copyright (c) 2011-2018 さろん. All rights reserved."
